第２回　がん薬薬連携セミナー

日時：令和３年３月１８日（木）14：00～15：00

２月に抗がん剤の副作用確認に活用いただける
施設間情報提供書（副作用チェックシート）
を作成し、運用を開始いたしました。
今セミナーでは、前回に引き続き **分子標的薬**
及び **免疫チェックポイント阻害剤** の副作用
について解説し、具体的な施設間情報提供書の
使用例についてもお話しします。

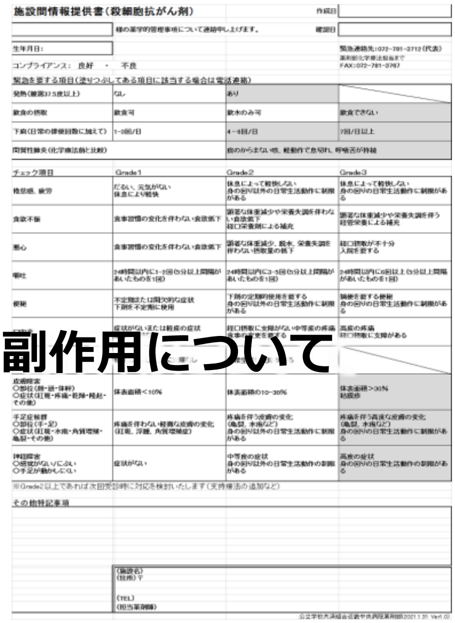
imagenavi

講演①　分子標的薬の副作用について

薬剤部　がん専門薬剤師　酒井　克紀

講演②　免疫チェックポイント阻害剤の副作用について

薬剤部　主任薬剤師　松本　和樹



施設間情報提供書（殺細胞抗がん剤）　作成日
様の薬学的管理事項について連絡申し上げます。　確認日
生年月日：
コンプライアンス：良好　・　不良
緊急連絡先：072-781-3712（代表）
薬剤部化学療法担当まで
FAX：072-781-3767

緊急を要する項目（塗りつぶしてある項目に該当する場合は電話連絡）

発熱（腋窩37.5度以上）	なし	あり	
飲食の摂取	飲食可	飲水のみ可	飲食できない
下痢（日常の排便回数に加えて）	1-3回/日	4-6回/日	7回/日以上
間質性肺炎（化学療法前と比較）		痰のからまない咳、軽動作で息切れ、呼吸苦が持続	

チェック項目	Grade1	Grade2	Grade3
倦怠感、疲労	だるい、元気がない 休息により軽快	休息によって軽快しない 身の回り以外の日常生活動作に制限がある	休息によって軽快しない 身の回りの日常生活動作に制限がある
食欲不振	食事習慣の変化を伴わない食欲低下	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない食欲低下 経口栄養剤による補充	顕著な体重減少や栄養失調を伴う 経管栄養による補充
悪心	食事習慣の変化を伴わない食欲低下	顕著な体重減少、脱水、栄養失調を伴わない摂取量の低下	経口摂取が不十分 入院を要する
嘔吐	24時間以内に1-2回（5分以上間隔があいたものを1回）	24時間以内に3-5回（5分以上間隔があいたものを1回）	24時間以内に6回以上（5分以上間隔があいたものを1回）
便秘	不定期または間欠的な症状 下剤を不定期に使用	下剤の定期的使用を要する 身の回り以外の日常生活動作に制限がある	摘便を要する便秘 身の回りの日常生活動作に制限がある
口内炎	症状がないまたは軽度の症状 [illegible]	経口摂取に支障がない中等度の疼痛 食事の変更を要する	高度の疼痛 経口摂取に支障がある
[illegible]	[illegible]	[illegible]	
皮膚障害 ○部位（顔・頭・体幹） ○症状（紅斑・疼痛・乾燥・隆起・その他）	体表面積＜10%	体表面積の10-30%	体表面積＞30% 紅皮症
手足症候群 ○部位（手・足） ○症状（紅斑・水疱・角質増殖・亀裂・その他）	疼痛を伴わない軽微な皮膚の変化（紅斑、浮腫、角質増殖症）	疼痛を伴う皮膚の変化（亀裂、水疱など） 身の回り以外の日常生活動作に制限がある	疼痛を伴う高度な皮膚の変化（亀裂、水疱など） 身の回りの日常生活動作に制限がある
神経障害 ○感覚がない/にぶい ○手足が動かしにくい	症状がない	中等度の症状 身の回り以外の日常生活動作の制限がある	高度の症状 身の回りの日常生活動作の制限がある

※Grade2以上であれば次回受診時に対応を検討いたします（支持療法の追加など）

その他特記事項

（施設名）
（住所）〒
（TEL）
（担当薬剤師）

公立学校共済組合近畿中央病院薬剤部2021.1.31 Ver1.0

対象：保険調剤薬局の先生方

お問い合わせ：公立学校共済組合　近畿中央病院　薬剤部
TEL　072-781-3712　FAX　072-781-3767